

## 柱 8

### 環境と共生する 持続可能なまち

#### ゼロカーボンシティ NUMAZU2050推進事業

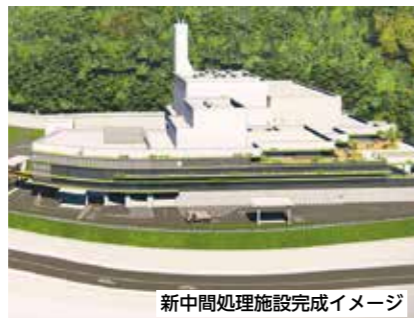
【6,300万円】

▶2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、公共施設へ太陽光発電設備等を導入するほか、住宅や事業所への太陽光発電設備等の設置や省エネ設備の導入、新築住宅のZEH化を支援します。

#### 中間処理施設整備事業

【4億8,900万円】

▶令和12年1月の供用開始に向け、新施設の建設工事に着手します。



新中間処理施設完成イメージ

#### 公共施設照明LED化事業

【 - 】

▶県内他市町に先駆けて、地元企業の参画を条件とした先進的手法である「ローカルPFI」により、公共施設の一括LED化事業に着手します。



公共施設照明LED化

## 4月から市の組織が変わります

ぬまづの魅力と安心を未来につなぐ組織を目指して、組織改正を行いました。

### 文化芸術まちづくりの戦略的推進

文化芸術は、市民の生きがいづくりや市民交流を促し、観光や関連産業の活性化につながる重要な地域資源です。市長のもとで政策判断に基づく文化政策に戦略的に取り組み、スポーツと文化を活用したまちづくりに関する施策を一体的に推進するため、文化部門を教育委員会から市長部局へ移管し、「文化政策課」を新設します。【市役所7階】



### 危機管理体制の強化

防災・減災対策の推進による災害に強いまちづくりの実現に向けて、危機管理体制を強化するため、危機管理監直下に専門的な知識と経験を有する「防災幹」を配置します。【市役所5階】



### ぬまづの魅力発信を積極的に推進

市内外に向けた市の魅力発信の展開や移住支援・婚活支援など総合的な視点で市内定住を推進し、効果的なシティプロモーションに戦略的に取り組む体制を強化するため、広報課と移住定住推進室を統合して「ぬまづプロモーション課」を新設し、同課に「情報発信係」と「プロモーション戦略室」を設置します。【市役所2階】



### 組織横断的なDXの推進

ICT推進課を「デジタル戦略課」に名称変更し、同課に「デジタルガバメント推進係」を設置します。また、統計係を廃止し、統計業務を総務課に移管します。【市役所3階・8階】



### 効率的な組織づくり

クリーンセンター管理課とクリーンセンター収集課を統合し、「クリーンセンター」を新設します。【クリーンセンター】

## 柱 5

### 安心して子どもを 産み育てられるまち

#### 地域子育て支援事業

【6,230万円】

▶子育て支援センターなどにおける育児相談や遊び場の提供など、地域における子育て世帯の支援を行います。

#### 沼津で子育てプロモーション事業

【79万円】

▶子育てママ・パパ等と連携したネットワークの充実を図るとともに、子育てに係る体験レポートや支援施策を情報発信するなど、本市での子育ての魅力伝える取組を実施します。

#### 学校給食公会計事業

【8億7,200万円】

▶給食1食あたりの賄材料費を前年度比5%増額するとともに、本市独自の支援により小学校は給食費を完全無償化し、中学校は保護者負担を据え置くことで、子育て世帯の支援を行います。



#### 放課後児童クラブ運営事業

【6億530万円】

▶保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、学校の余裕教室等を利用して適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。また、子育て世帯の負担軽減を図るため、同一生計内第2子以降の指導料を一律半額にします。

#### 教科指導研究事業

【450万円】

▶学校や教室に入ることが困難な児童のための居場所として、市内全ての小学校に「校内フリースペース」を設置するなど、児童生徒の学習環境の支援を行います。

## 柱 6

### 笑顔があふれ 健康で心豊かに 暮らせるまち

#### フェンシングのまち沼津推進事業

【3,400万円】

▶拠点施設[F3 BASE]を活用した競技の普及やシンボルフェンサーの育成、大会・合宿の誘致などに取り組み、「フェンシングのまち」としての知名度向上を図ります。



F3 BASE

#### 市民文化センター施設整備事業

【4億9,770万円】

▶市民の文化芸術活動拠点施設として更なる充実を図るため、施設等の改修を行います。



沼津市民文化センター

#### 「文化芸術のまち沼津」推進事業

【540万円】

▶だれもが気軽に芸術文化を体験できる機会の充実を図るとともに、市民文化センターの新たな利活用の検討実施など、文化芸術によるまちづくりを推進します。

#### 地域生活支援事業

【2億1,600万円】

▶障がいや難病のある人が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、地域生活支援事業として必要な各種事業を実施します。

#### 重層的支援体制整備事業

【600万円】

▶複雑化・複合化した支援ニーズを有し、既存制度の支援内容だけでは解決することが難しい支援対象者やその世帯のニーズに対応するため、様々な関係機関の連携を促進することで、それぞれの取組の特徴、強みが発揮できる包括的な支援体制を構築し、重層的な支援を行います。

## 柱 7

### 安全・安心のまち

#### いつでも安心AED24時間事業

【275万円】

▶市内コンビニエンスストア(49カ所)に24時間使用可能なAEDを設置することにより、傷病者の救命率の向上を図るとともに、市民の安全・安心の確保に努めます。



#### 総合的治水対策整備事業

【5億6,500万円】

▶常襲浸水地域の浸水被害を軽減するため、令和8年度末に供用開始予定の大平江川排水機場や井戸川雨水貯留池の施設整備など治水対策を進めます。



大平江川排水機場

#### 津波対策事業

【1億2,630万円】

▶津波からの人的被害を軽減するため、津波避難路などの整備、孤立予想地区における食料や水などの備蓄品の拡充、西浦地区センターの更新整備に合わせた防災施設の高台移転を進めるほか、静岡県第5次地震被害想定を踏まえた地震・津波対策の検討を行います。

#### 海岸整備事業

【1,316万円】

▶海岸の防護・保全を図るため、海岸保全施設の適正な維持管理を実施するほか、津波・高潮対策に係る取組を実施します。